



# ペチヤクチャ カナダ人

英語指導助手/アシユリー・ペトルレツチ

## Thoughts on School Festivals

I never really enjoyed school festivals back home – yes, it is true, Canadian schools also have yearly festivals, which showcase the achievements of the school band, choir, and theater group, amongst others. Although, I am somewhat biased in my assessment of Canadian festivals – this is partially due to my loathed role as a squirrel in an elementary production of, gosh, was it Alice in Wonderland? Not to mention, as a member of the school band, I was often annoyed by my fellow band member's inability to practice their instruments, thus our embarrassment on stage was frequent.

However, my experience in Japan has been the contrary – quite possibly because I am now an observer, rather than a participant, but the reality is that Japanese festivals are better than Canadian festivals. No, it is true! Japanese school festivals are a huge undertaking and the level of genuine commitment, by teachers and students is astonishing. The level of pride that exudes from the school community is unparalleled to any of my experiences! With that in mind, I look forward to future school festivals!

## 学習発表会 (学芸会)

カナダでも学習発表会は毎年恒例で、スクールバンドや合唱、劇など日頃の成果を発表するいい機会です。でも個人的には楽しいと思っただけではありません。まあ、自分の印象が今一つなのは、劇で当たったりス役が嫌だったせいかもしれません。あれは「不思議の国のアリス」だったかな？それに、スクールバンドのメンバーがちゃんと練習してくれないことも悩みの種で、舞台ではよく恥ずかしい思いをしました。

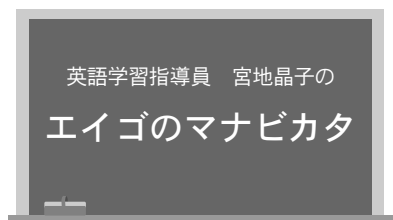
ところが、これが日本の場合には印象が全然違います。もちろん私が傍観者だからということもあるでしょう。それにしても日本の発表会は実際カナダよりずっとスゴイです。本当！力を入れているのがわかりますし、先生も生徒もその真剣さといったら全く驚きです。学校が一つになって取り組んでいる様子には誇りを感じます。そんなわけで、今年も学習発表会や学芸会を楽しみにしています。

(訳：宮地晶子)

### 【ちょっと豆知識】

カナダの小学校で学芸会、学習発表会の定番は、「ピーター・パン」「オズの魔法使い」「シンデレラ」「不思議の国のアリス」など。カトリック系の学校では、キリスト降誕の物語も多いとか。児童の出番を作るため、先生が役決めをいろいろ工夫する点は日本と同じ。舞台背景の木がセリフをもらってしゃべったりするそうです。保護者の席取りで、良い席を取るため早く来るところも同じ。一番の違いは、発表会が夕方の数時間で終わるため、お弁当持ちではないことでしょうか。

夏になると毎年やるうとして挫折すること。それは自分の部屋に英語のテキストや参考書、原書が山のようにあります。一番古いのは、自分が中学生のときの教科書。新しいところではNHKラジオ講座のテキスト「英会話上級」や「初級英語」の8月号。他には学校英語、英会話、英検、通訳訓練用、TOEIC、読み物などなど。今では部屋に収まりきらず、玄関や居間に溢れかえる始末。捨てようと手に取ってはもったいなくて捨てられず、整理は遅々として進まず、今年もとうとうあきらめました。



第41回

思いは英語図書館

実は私には夢があります。それは、どこかにこういう物を置いて、いつでも誰でも来られる英語館のようなスペースを作ることです。マザーグースのCDをかけて、歌を自然に頭に刷り込めるようにして…。子供たちが十分慣れたところで一緒に歌ったり、絵本の読み聞かせをしたり…。英語が母国語ではない子供のために作られている優れたアニメを見せたり…。簡単な英語の本から、徐々に大人の本へとゆるやかに移行する英語リーディング文庫もたっぷりあって、自由に借りられる。いつでも誰でも来て、質問もできる。時間を気にしないでお腹いっぱい英語に触れられる。英語図書館のような空間。そこから英語を苦にせず使える子供がたくさん育つ。そんな夢。夢って紙に書くとお実現するものですか。「いつかできるかも！」って思っています。